

医史学関係文献目録 (項目五十音順)

医学切手・書画

世界の医学切手

歯痛の守護聖人 St. Apollonia 古川 明 医学のあゆみ 一

二四(一) 一七~一八 一九八三

ドンデルス Donders 古川 明 医学のあゆみ 一二四(三)

中付 一九八三

小児病院 古川 明 医学のあゆみ 一二四(六) 六二一~

六二二 一九八三

グロッシンヒ Antonio Grossich 古川 明 医学のあゆみ 一

二四(八) 中付 一九八三

Bambino 赤ん坊(一) 古川 明 医学のあゆみ 一二四

(一〇) 八八〇~八八一 一九八三

ランヤン G.H. Armauer Hansen 古川 明 医学のあゆみ

二四(一) 中付 一九八三

ヒボクラテス 新しい切手の紹介 古川 明 医学のあゆみ

二五(三) 中付 一九八三

ズードホーフ 医史学研究所所蔵の古い医科器械 古川 明

医学のあゆみ 二五(六) 五四九~五五〇 一九八三

医学用語

日葡辞書から見た安土桃山時代の医学―三 身体部位語 亀

節子・大槻 彰・前川久太郎 日本医史学雑誌 二九(二) 一

七一~一七三 一九八三

医師会・学会

日本医師会小史 青柳精一 日本医師会雑誌 八九(九) 一六

一八~一六二〇、(二一) 一九八五~一九八七、九〇(一) 一四

〇~一四二、(三) 四七八~四八〇、(七) 一四四一~一四四三、

(九) 一九六四~一九六六、(二) 二五二八~二五三〇 一九

八三

恩賜財団済生会の設立と医師会 青柳精一 日本医師会雑誌

九〇(一) 一四〇~一四二 一九八三

私と民医連/三〇年の歴史から

この三〇年間に病氣も医療も大きく変わった日本の民衆像の転

換期に生きて 岡田 久 民医連医療 (一三三) 一〇〇~

一〇五 一九八三

廃墟と化した仙台に熱き想いを抱いて結集した医師たち 一九

五〇年 宮城厚生協会設立のころ 高橋 実 民医連医療

(一三三) 九八~一〇四 一九八三

医師としての出発、そして戦後精神科医療の変遷 松田方一

民医連医療 (一三四) 七四~七九 一九八三

医史学一般

安政年間相模国における長州藩の医療 田中助一 日本医史学

雑誌 二九(二) 一二七~一二九 一九八三

医学史の歴史 中川米造 日本医史学雑誌 二九(二) 一〇七

~一〇八 一九八三

慶長使節と南蛮医学 山形敏一 日本医史学雑誌 二九(二) 一

一八 一九八三

養老医疾令復原の再検討 高塩 博 日本歴史 (四一七)二

〇〇三七 一九八三

日本の医療文化史

シーボルトの修学証書 宗田 一 Neue Informa 七(一)

二七〇三三 一九八三

散瞳薬をめぐる 宗田 一 Neue Informa 七(一)二七

〇三三 一九八三

シーボルトから学んだ医療 宗田 一 Neue Informa 七

(三)二七〇三三 一九八三

シーボルト事件をめぐる 宗田 一 Neue Informa 七

(四)二七〇三三 一九八三

蚕社の獄前後の江戸蘭医界 宗田 一 Neue Informa 七

(五)二七〇三三 一九八三

新旧医学の葛藤 宗田 一 Neue Informa 七(一)二七

三三三 一九八三

牛痘種法の伝来 宗田 一 Neue Informa 七(一)二七

三三三 一九八三

江戸蘭方医学の再起 宗田 一 Neue Informa 七(一)二

七〇三三 一九八三

長崎の西洋医学伝習 宗田 一 Neue Informa 七(九)二

七〇三三 一九八三

コレラの侵入 宗田 一 Neue Informa 七(一〇)二七

三三三 一九八三

コレラの惨状 宗田 一 Neue Informa 七(一)二七

三三三 一九八三

麻疹(はしか)の流行 宗田 一 Neue Informa 七(一)二

(一)二七〇三三 一九八三

史的推理雑考 養生訓、越後屋に入る 中西淳朗 保団連

八六)五二〇五四 一九八三

日本の医療史 酒井シヅ 薬事新報 (二二二)三八五〇三

八九 一九八三

医療制度史

岡谷蚕糸博物館所蔵資料にみる製糸工女の医療費負担について

(第六報 福利厚生施設調査) 清水勝嘉 日本医史学雑誌

二九(一)一八四〇一八六 一九八三

日本医療史(五五〇五九) 日戸修一 日本医事新報 (三〇八

八)六五〇六九(三〇八九)六七〇六八(三〇九〇)六六〇

七〇(三〇九一)六八〇七〇 一九八三

医学教育

医学教育における医史学資料の評価 寺畑喜朗 日本医史学雑誌

二九(二)一〇八〇一〇 一九八三

堺県医学校補遺 宗田 一 日本医史学雑誌 二九(二)一一三

〇一一五 一九八三

明治時代の公立医学校廃止の顛末(その二) 西川瀨八 日本医

史学雑誌 二九(二)一八〇〇一八一 一九八三

在学生の書簡よりみた第一次東京大学医学部的一面 不破義信

日本医史学雑誌 二九(四)四五五〇四六一 一九八三

明治六、七年度東京大学医学部学科表 小関恒雄 日本医史学

雜誌 二九(四) 四六二~四七六 一九八三

我国のリハビリテーション医学研究と教育の歴史 杉山 尚

リハ医 二〇(一) 五三~六二 一九八三

医療機器

日本における包帯の歴史に関する研究(一)「繃帯彙編」の原典

蒲原 宏 日本医史学雑誌 二九(二) 二〇九~二二一 一九八三

八三

今は昔・医療機器

浣腸器 宗田 一 臨ME 七(一) 一七~二〇 一九八三

刺絡具 宗田 一 臨ME 七(三) 二六一~二六四 一九八三

八三

衛生・公衆衛生

南洋庁の医事衛生事情 関根正雄 日本医史学雑誌 二九(二)

一八八~一九〇 一九八三

産業報国会関係資料 森 博 日本医史学雑誌 二九(二) 一

九〇~一九二 一九八三

昭和前期の労働衛生史 乾 修然 日本医史学雑誌 二九(二)

二二二~二二四 一九八三

日本の高温労働環境の歴史 三浦豊彦 日本医史学雑誌 二九

(二) 二二四~二二六 一九八三

衛生補給の史的考察(第一報) 衛生科の変せん(明治元年~明治

一五年) 黒沢嘉幸 防衛衛生 三〇(一) 一~一一 一九八三

医療政策思想史ノート

「国家衛生原理」 日野秀逸 保団連 (一八四) 六六~七〇

一九八三

「国家衛生原理」 日野秀逸 保団連 (一八六) 七一~七

八 一九八三

解剖学史

いわゆるターヘル・アナトミア翻訳の余話 酒井 恒 現代医

三一(一) 一七七~一八二 一九八三

いわゆる「ターヘル・アナトミア」と解体新書の比較(その四)

酒井 恒 日本医史学雑誌 二九(二) 一二九~一三一 一九八三

看護史

近代日本看護史における看護婦の社会的地位

評価に関する研究 亀山美知子 看護 三五(一) 一六四~

一七二 (八) 一二三~一三五 (九) 一一七~一二八 一九八三

クリミア戦争とナイチンゲール 金井一薫 看学生 (五) 二

六~二七 一九八三

目で見る看護史 魅力ある看護史の授業をめざして 最初の看護

学校とトレイノドナイス 高橋政子 看教 二四(九) 五六

〇~五六三 一九八三

写真に見る日本医療小史

医療における女性 長門谷洋治 看護実践の科学 四月、五月

一九八三

病院 長門谷洋治 看護実践の科学 六月 一九八三

結核 長門谷洋治 看護実践の科学 七月 一九八三

急性伝染病 長門谷洋治 看護実践の科学 八月 一九八三

ハンセン氏病、梅毒 長門谷洋治 看護実践の科学 九月 一九八三

ガン 長門谷洋治 看護実践の科学 十月 一九八三

精神疾患 長門谷洋治 看護実践の科学 十一月 一九八三

診療録 長門谷洋治 看護実践の科学 十二月 一九八三

評伝・河村 郁 悲しみの阿修羅 べっしょちえこ 看護実践

の科学 八(六) 六六〇七六、(七) 六六〇七五 一九八三

人間 その新しい臨床像 近代科学の成立と心身二元論 滝浦

静雄他二名 看護展望 八(二) 三九〇四六 一九八三

小石川療養所の医療・看護について 下山和美 クリニカルス

タデイ 四(七) 六九〇七四 一九八三

江戸時代の家庭看護 山根信子 日本医史学雑誌 二九(二)

一七八〇一七九 一九八三

特看の創設当初より研究会の誕生まで 山元重光 日看研会誌

五(三) 九 一九八三

第四回研究会と特看設置までのあれこれ 村越康一 日看研会

誌 五(三) 一〇 一九八三

第一回四大学看護学研究会成立まで 福井公明 日看研会誌

五(三) 一一 一九八三

眼科史 医学史上に散見する眼科 東ローマ帝国 飯沼 巖 銀海(九

五) 二八〇三一 一九八三

医学史上に散見する眼科(三) アラビア帝国 飯沼 巖 銀海

(九七) 二九〇三二 一九八三

眼科諸流派の秘伝書 中泉行信・中泉行史・斉藤仁男・臨眼

三七(一) 八八〇八九、(二) 二四六〇二四七、(三) 四〇四〇

四〇五、(四) 五三二〇五三三、(五) 七二二〇七二一、(六)

八六六〇八六七、(七) 九九八〇九九九、(八) 一一六二〇一一

六三、(九) 一三〇一〇一三〇二、(一〇) 一三九〇一三九一、

(一一) 一四七二一四七三、(一二) 一五二二一五二三 一

九八三 寄生虫学史

寸白虫は何をさすか―日本および中国の糸虫症の医史学― 大

島智夫 科学医学資料研究 (一一三) 七〇一、(一一四) 一

〇〇一一 一九八三

医学史に現われた寸白蟲 大島智夫 日本医史学雑誌 二九

(二) 九五〇九八 一九八三

軍陣医学史

島津合伝流兵学大成 中宮安夫 北畠紀要 (二二) 二二〇二四

一九八三

ウトレヒト陸軍軍医学校テキスト、フランスの解剖書とその日本へ

の伝播 石田純郎 ハルム・ポイケルス 日本医史学雑誌

二九(二) 一三三〇一三五 一九八三

一般人を対象とした現役軍医の病院 佐久間温巳 日本医史学

雑誌 二九(二) 一八二一八四 一九八三

関東軍軍医補充教育について 渡辺 誠 日本医事新報 (三〇八八) 六三〇六四 一九八三

形成外科史

植皮の歴史

遊離植皮の歴史は再接着からはじまる 倉田喜一郎 日災医学会誌 三一(一)一〇六 一九八三

Revardin 以前における遊離植皮の試み 倉田喜一郎 日災医学会誌 三一(五) 三三九〇三四二 一九八三

外科史

外科療法の歴史的概説 寺松 孝 結核 五八(五) 二七三〇二七七 一九八三

適塾にある「アンブロアズ・パレ全集」について―日本の外科を方向づけた書― 大村敏郎 適塾 (二六) 九八〇一〇三 一九八三

我国小児外科の初期の頃を語る 島田信勝他四名 外科診療 二五(五) 六〇〇〇六一四 一九八三

産婦人科学史

縄文中期の安産の神様? 岩偶 小宅朝男 日本医事新報 (三〇六五) 七〇 一九八三

歯学史

大正時代大阪ミナミで開業の歯科診療の実態について 山上秀治 日本歯科医史学会誌 九(四) 一〇三〇一〇一 一九八三

甲骨文「齶」字に関する考察 戸出二郎 日本歯科医史学会誌 九(四) 一一二〇一八 一九八三

Solyman Brown (一七九〇〜一八七六) と彼の論文 [A treatise on mechanical dentistry] について 永田和弘 日本歯科医史学会誌 九(四) 一一九〇一二九 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」表題及び第一巻第二卷の目次 高山直秀 日本歯科医史学会誌 九(四) 一三〇〇一五七 一九八三

一八七四年発刊の「Japan and the Japanese」に見られる歯科記述について 新藤恵久 日本歯科医史学会誌 一〇(一) 一一九八三

江戸時代における歯科診療所について 本山佐太郎 日本歯科医史学会誌 一〇(一) 一 一九八三

中国古代における「齶」の意味について 戸出一郎 日本歯科医史学会誌 一〇(二) 一〇二 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」の記述から推定される初版の脱稿時期 高山直秀 日本歯科医史学会誌 一〇(一) 一一 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」: 初版と第二版との相違について 高山直秀 日本歯科医史学会誌 一〇(一) 三 一九八三

「the Chingtien Dentiste」の訳語について「歯科外科医」か「外科歯科医」か 高山直秀 日本歯科医史学会誌 一〇(一) 三〇四 一九八三

明治時代の歯科病理学者 谷津三雄・鈴木 勝 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)四~五 一九八三

看護訓導執務指針に見られる学校歯科 谷津三雄・鈴木 勝

日本歯科医史学会々誌 一〇(一)五 一九八三

江戸時代の歯科麻醉 谷津三雄・鈴木 勝 日本歯科医史学会誌 一〇(一)五~六 一九八三

医学歯学に関する雑誌の創刊号(第一報) 谷津三雄・鈴木 勝

日本歯科医史学会々誌 一〇(一)六~七 一九八三

Danta と Dantakasha についていわれる梵音義の解釈

杉本茂春 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)七~八 一九八三

三

明治時代の歯科書籍の研究(第四報)——歯科学報二二卷一一・一二合本に見られるミラー博士記念号について——岡田治夫 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)八~九 一九八三

口腔治療学の回顧(第一報) 長谷川正康 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)九~一〇 一九八三

結核の歴史 久田太郎 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一〇 一九八三

古墳と古代国家 小出義治 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一〇~一一 一九八三

第四回国内勸業博覧会 歯科出品物の審査結果(第一報) 大橋 正敬 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一一 一九八三

歯科診療報酬算定の考え方の推移 榊原悠紀田郎・石井拓男

日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一一~一二 一九八三

満州国時代の歯科医人の活躍について(第二報) 敗戦後の引き揚げ苦勞 長谷川俊夫 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一二 一九八三

草創期の F.D.I. および万国歯科医学会と日本歯科先覚者たちとの関係について 森山徳長・高添一郎 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一三~一四 一九八三

歯の名称の変遷について 本間邦則 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一四~一五 一九八三

羅・葡・日対訳辞書(天草版一五九五年)に見られる歯科関係用語について 嶋村昭辰・上潟口 茂 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一五 一九八三

再び鎌田支台の口腔外科について 上潟口 武・嶋村昭辰 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一五~一六 一九八三

Bonwill 咬合器とその前後の咬合器 永田和弘・大森康弘 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一六 一九八三

Bonwill clasp の理論今日的意義 永田和弘 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一七 一九八三

開口器の変遷 下総高次 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一七~一八 一九八三

日本におけるいわゆる斑状歯(歯牙フッ素症)の初期の報告について 加藤一夫・石井拓男・榊原悠紀田郎 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)一九~二五 一九八三

ビエール・フォジャール著「歯科外科医」序文 高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一〇(一)四二~四八 一九八三

日本歯科医史学会々誌 一〇(一)四二~四八 一九八三

Fauchard 知られざる第三版 中原 泉 日本歯科医史学会々

誌 一〇(二)五五~六〇 一九八三

Dubois De Chéran 歯牙移植と陶歯 下総高次 日本歯科

医史学会々誌 一〇(二)六一~六六 一九八三

ハッチソンの歯について 本間邦則 日本歯科医史学会々誌

一〇(二)六七~七二 一九八三

“Le Chirurgien Dentiste”の訳語について「歯科外科医」か「外

科歯科医」か 高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)

七三~七五 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」…初版と第二版との相

違について 高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)

七六~七九 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」の記述から推定される

初版の脱稿時期 高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一〇

(二)八〇~八二 一九八三

ピエール・フォシャル著「歯科外科医」初版の献辞について

高山直秀 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)八三~八四 一

九八三

本所歯科医師会の学校歯科・口腔衛生運動―特に「良い歯の日」

の先駆の実施等について― 森山徳長 日本歯科医史学会々

誌 一〇(二)八五~九一 一九八三

HUMBERT: 「LE JAPON ILLUSTRE」に見られる幕末日本の

歯科風俗について 新藤恵久 日本歯科医史学会々誌 一

〇(二)九二 一九八三

江戸時代における歯科診療所について 本山佐太郎 日本歯科

医史学会々誌 一〇(二)九二~九三 一九八三

中国古代における「齲」の意味について 戸出一郎 日本歯科

医史学会々誌 一〇(二)九三~九四 一九八三

明治時代の歯科病理学書 谷津三雄・鈴木 勝 日本歯科医史学

会々誌 一〇(二)九六 一九八三

養護訓導執務指針にみられる学校歯科 谷津三雄・鈴木 勝

日本歯科医史学会々誌 一〇(二)九六~九七 一九八三

江戸時代の歯科麻醉 谷津三雄・鈴木 勝 日本歯科医史学会

会誌 一〇(二)九七~九八 一九八三

医学歯学に関する雑誌の創刊号(第一報) 谷津三雄・鈴木 勝

日本歯科医史学会々誌 一〇(二)九八~九九 一九八三

Dania と Dantakasha について―いわゆる梵音義の解釈― 杉

本茂春 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)九九 一九八三

明治時代の歯科の書籍の研究(第四報)―歯科学報第一二巻第一

一、一二号合本に見られるミラー博士の記念号について―

岡田治夫 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇〇 一九八

三

口腔治療学の回顧(第一報)―特に歯科用エンジンの発達― 長

谷川正康 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇〇~一〇一

一九八三

結核の歴史―ロベルト・コッホ結核菌発見一〇〇周年を記念し

て― 久田太郎 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇一

~一〇三 一九八三

安閑紀・武蔵動乱の考古学的推理 小出義治 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇三〜一〇四 一九八三

第四回国内勲業博覧会歯科出品物の審査結果(第一報)―歯科器材について― 大橋正敬 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇四〜一〇五 一九八三

歯科診療報酬算定の考え方の推移について 榊原悠紀田郎・石井拓男 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇五 一九八三

満州国時代の歯科医人の活躍について(第二報) 敗戦後引揚げの苦勞―特に福島秀策先生について― 長谷川俊夫 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇六 一九八三

草創期のF.D.I.および萬国歯科医学会と日本歯科界先覚者たちとの関係について 森山徳長・高添一郎 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇六〜一〇七 一九八三

歯の名称の変遷について 本間邦則 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇七〜一〇八 一九八三

羅・葡・日対訳辞書(天草版一五九五年)に見られる歯科関係用語について 嶋村昭辰・上瀉口 武 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇八〜一〇九 一九八三

再び鎌田支台の口腔外科について 嶋村昭辰・上瀉口 武 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一〇九〜一一〇 一九八三

Bonwill clasp の今日的意義 永田和弘 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一一〇〜一一一 一九八三

Bonwill の咬合器とその前後の咬合器 永田和弘・大森康弘 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一一一〜一二二 一九八三

開口器の変遷 下総高次 日本歯科医史学会々誌 一〇(二)一一二 一九八三

新潟市の医学・歯学史散策 蒲原 宏・本間邦則 日本歯科史新渥歯学部史料室 八 一九八三
史跡・記念碑
「漢方医学復興之地」の碑 初芝澄雄 日本医事新報 (三〇九六) 六五 一九八三
疾病史
熱傷の歴史 安西 喬 外科 MOOK (三四) 一〜九 一九八三

日本における対癌運動史―北海道対癌協会について― 長門谷 洋治 日本医史学雑誌 二九(二)二一七〜二一九 一九八三
日本における結核流行の歴史 岩崎竜郎 複十字 (一七二) 一四〜一五 一九八三

小児科史
小児アレルギー研究会のあゆみ 馬場 実 小児内科 一五(九) 一二五〜一二六 一九八三
第二〇回小児アレルギー研究会を記念して中山喜弘先生と小児アレルギー 島貫金男他二名 小児内科 一五(九) 一三二九〜一三三七 一九八三

小児保健協会の歩み 再発足当時を中心に 林 路彰他三名 小児保健研 四二(三) 二八一〜二九三 一九八三
日本における初期の小児科領域についての一考察 安達原睡子 日本医史学雑誌 二九(三) 二九一〜三〇三 一九八三

獸医学史

石川家藏絵巻 大坪本流 馬相絵について 村井秀夫・松尾信

一 日本獣医史学雑誌 (一七) 五〇二一 一九八三

牛医一流之秘伝書の「たち」と「こし」の証の解析 白水完児

日本獣医史学雑誌 (一七) 二二〇三四 一九八三

寛文牛疫の復旧に至る史的考察(補遺) 岸 浩 日本獣医史学

雑誌 (一七) 三五〇四八 一九八三

橋猪弼・考 獣医史のロマン 坂本 勇 日本獣医史学雑誌

(一七) 四九〇五七 一九八三

獣医史学に関する通史の紹介(補遺) 勝山 脩 日本獣医史学

雑誌 (一七) 五八〇六〇 一九八三

下総御料牧場のできるまで 谷垣康弘 日本獣医史学雑誌

(一七) 六三〇六八 一九八三

種痘

中川五郎治の種痘法の研究―新たに発見された被接種者― 松

木明知 日本医史学雑誌 二九(一)三五〇四一 一九八三

Smallpox Mortality in a Mountainous District in Japan where

neither Variation nor Vaccination had been performed

Keizo SUDA, Masao SOEKAWA 日本医史学雑誌 二九

(一) 九四〇八三 一九八三

Contribution of Shibusaburo Kitasato to the Improvement of

Smallpox Vaccine in Japan Masao SOEKAWA 日本医

史学雑誌 二九(三)三五二〇三四八 一九八三

続大野藩種痘・病院関係文書 岩治勇一 福井県医師会だより

(二五) 三六〇三八 一九八三

書誌学

ヘルムホルツの「生理光学提要」 山口宙平 科学医学資料研究

(二〇四) 七〇八 一九八三

ロキンスキー「病理解剖学ハンドブック」 同「病理解剖学教科

書」 川喜田愛郎 科学医学資料研究 (二〇四) 九〇一〇

一九八三

ジョン・ハンター「人の歯の科学」 同「歯の諸疾患」 川喜

田愛郎 科学医学資料研究 (二〇四) 一〇〇一二 一九八三

マルゲーニユ編集の「アンブローズ・パレ全集」をめぐる

大村敏郎 科学医学資料研究 (二〇五) 一〇六、(二〇七) 一

〇五 一九八三

ウィルヒョウ「生命および疾病―四つの講演」(二八六二) 梶

田 昭 科学医学資料研究 (二〇六) 六〇七 一九八三

満州文「欽定骸体全録書」について 上原 久 科学医学資料

研究 (二〇七) 六〇九、(二〇九) 五〇七 一九八三

R・ウィルヒョウ「一般病理学の百年」(一八九五) 梶田

昭 科学医学資料研究 (二〇七) 一〇〇一二 一九八三

『エンヒリーディオ・メディタム』の未邦訳と思われる二章に

ついて 毛利孝一 科学医学資料研究 (二〇九) 一〇四

一九八三

「眼科新書」の原本を求めて 山賀 勇 科学医学資料研究

(二一〇) 九〇二二 一九八三

感想一〇―C.C. Gillispie 編「科学伝記事典」(D.S.B.)をめぐる

て 川喜田愛郎 科学医学資料研究 (一一二) 六〇八 一
九八三

櫻田勝徳「痔治療日記」—病人史の資料として— 川上 武・
岡倉捷郎 科学医学資料研究 (一一三) 一〇七 一九八三

『ド・カンドルとスプレングルの科学的基礎植物学』 木村陽二
郎 科学医学資料研究 (一一四) 一〇四 一九八三

櫻田勝徳「痔治療日記」(一)—病人史の資料として— 川上
武 科学医学資料研究 (一一四) 五〇九 一九八三

誰がインシュリンを発見したか Michael Bliss 『The Discovery
of Insulin』の書評にかえて 赤沢 堯 化と生物 二二(六)
三九〇—三九二 一九八三

R・リーデル編「カール・ワイゲルト論文集」(一九〇六)
科学医学資料研究 (一〇九) 九〇一〇 一九八三

漢方古典文献概説 傷寒論 小曾戸 洋 現代東洋医学 四
(一) 九四—一〇一 一九八三

『医務取調書上』と『医者履歴明細書』—明治初年の医師現状調
査について 深瀬泰旦 日本医史学雑誌 二九(二) 一一五
—一一七 一九八三

モーゼス・マイモニデスの『喘息論』について 石渡隆司 日
本医史学雑誌 二九(二) 一二五—一二六 一九八三

青木大輔編「西洋医家名和訳覚帳」その他について 玉手英典
日本医史学雑誌 二九(二) 一三七—一三八 一九八三

『大素』と『素問』『靈枢』の比較的考察 丸山敏秋 日本医史
学雑誌 二九(二) 一五七—一五九 一九八三

宮内庁書陵部所蔵五卷本『和剂局方』について 小曾戸 洋
日本医史学雑誌 二九(二) 一六〇—一六二 一九八三

『医心方』の伝写について(Ⅲ) 杉立義一 日本医史学雑誌
二九(二) 一六二—一六三 一九八三

『万安方』の小児門について 安達原唾子 日本医史学雑誌
二九(二) 一六四—一六六 一九八三

「麻疹」名義考 三井駿一 日本医史学雑誌 二九(二) 一六
六—一六八 一九八三

安芸家(北小路家)「御疹所日記」について 北小路博央 日
本医史学雑誌 二九(二) 一六九—一七一 一九八三

『万安方』の小児門について 安達原唾子 日本医史学雑誌
二九(四) 三五三—三六七 一九八三

越前版「俗解八十一難経」の異版について 岩治勇一 福井県
医師会だより (二五八) 二四—二五 一九八三

越前版「俗解八十一難経」の写本について 岩治勇一 福井県
医師会だより (二六一) 一一 一九八三

「蘭学事始」その時代と精神 近代医学のあけぼの 高橋嶺一
民医連医療 (二二六) 六一—七〇 一九八三

『大黃私考』について 安江政一 慈齋研究会だより (一〇〇)
一—三 一九八三

循環器
核医学とくに心臓核医学開拓の道 上田英雄 循環科学 三
(八) 八三〇—八三一 一九八三

神経学史

脳とこころのはなし ブローカ中枢 杉下守弘 からだの科学

(一一二) 一二二～一二六 一九八三

神経心理学史の里程標

Wernicke の Breslau 学派とその周辺 浜中淑彦 脳と神経

三五(一) 一〇〇～一〇一 一九八三

神経心理学的基本概念とその起源 浜中淑彦 脳と神経 三

五(二) 一九六～一九七、(三) 三二〇～三二一 一九八三

二〇世紀神経心理学への転回点(一) — Freud と Marie 浜

中淑彦 脳と神経 三五(四) 四一〇～四一一、(五) 五二二

～五三三 一九八三

二〇世紀神経心理学への転回点(Ⅱ) — Pick, V. Monakow,

Head, Goldstein 浜中淑彦 脳と神経 三五(六) 六三〇

～六三二、(七) 七三四～七三五 一九八三

神経心理学の先史時代 脳室学説と J. Willis の周辺 浜中

淑彦 脳と神経 三五(八) 八三七～八三九 一九八三

神経学の発達

ガレノス 森 優 臨床と研究 六〇(四) 赤ページ 一九

八三

カレンの神経病理学 森 優 臨床と研究 六〇(五) 赤ペ

ージ 一九八三

ノイロン説と神経原纖維説 森 優 臨床と研究 六〇(六)

赤ページ 一九八三

ルベ・マジジャンディの方則 森 優 臨床と研究 六〇(七)

赤ページ 一九八三

血管の神経支配 森 優 臨床と研究 六〇(八) 赤ページ

一九八三

デュアン・マルタン・シャルコー 森 優 臨床と研究 六

〇(九) 赤ページ 一九八三

ハインリッヒ・ロンベルグ 森 優 臨床と研究 六〇(一

〇) 赤ページ 一九八三

ジョン・ヒューフリング・ジャクソン 森 優 臨床と研究

六〇(一一) 赤ページ 一九八三

ブラウン・セカール 森 優 臨床と研究 六〇(一二) 赤

ページ 一九八三

歴史的名医の名言、至言 天児民和 臨床と研究 六〇(九)

青ページ 一九八三

人名録

明治初期の兵庫のローカル英字新聞記事に見る外国人医師名

石田純郎 日本医史学雑誌 二九(一) 七〇～七二 一九八三

山本亡羊の門人簿について 遠藤正治 日本医史学雑誌 二九

(二) 一四一～一四三 一九八三

整形外科史

整形外科の歴史 足の看護史 加藤正 訳 整形外科 三四(一)

一一五～一一八、(二) 二四〇～二四四、(三) 三六二～三六四、

(四) 五〇五～五〇八、(五) 六二八～六三〇、(六) 七五一～七

五四、(七) 八八四～八八六、(八) 一〇一三～一〇一六、(九)

一一四五～一一四八、(一〇) 一二七二～一二七四、(一一) 一

四〇七～一四〇八、(一三)一〇四二～一〇四三、一九八三

リハビリテーション医学の歴史について 水野祥太郎 リハ医

二〇(一)四七～五二 一九八三

整形外科を育てた人達

Ambroise Paré 天児民和 臨床整形外科 一八(一)六四

～六七 一九八三

Nicolas Andry 天児民和 臨床整形外科 一八(二)一八

八～一九一 一九八三

George Friedrich Louis Stromeyer 天児民和 臨床整形外

科 一八(三)二九四～二九七 一九八三

William John Little 天児民和 臨床整形外科 一八(五)

五五二～五五五 一九八三

Hugh Owen Thomas 天児民和 臨床整形外科 一八(六)

六六四～六六七 一九八三

Francis Glisson 天児民和 臨床整形外科 一八(八)七五

〇～七五三 一九八三

Percival Pott 天児民和 臨床整形外科 一八(九)八七〇

～八七三 一九八三

Richard Volkmann 天児民和 臨床整形外科 一八(一〇)

九四二～九四五 一九八三

Albert Hoffa 天児民和 臨床整形外科 一八(一一)一一

〇四～一一〇八 一九八三

Julius Wolff 天児民和 臨床整形外科 一八(一二)一一

八四 一九八三

Friedrich von Hensing 天児民和 臨床整形外科 一八(一

三)一三〇六 一九八三

精神医学史

狐問答ほか—狐憑き研究史余話 岡田靖雄 科学医学資料研究

(一一)一～六、(一二)七～一一 一九八三

つく狐はキツネか—狐憑き研究余話 岡田靖雄 科学医学資料

研究 (一二)七～一一 一九八三

狐憑き研究史—明治時代を中心に 岡田靖雄 日本医学雑誌

二九(四)三六八～三九一 一九八三

西洋医学史

明治二〇年以前の翻訳西洋医学書の出版動向 水間棟彦・酒井

シヅ 日本医学雑誌 二九(二)一三九～一四〇 一九八三

地方史

郷土の医史とその周辺

文久二、三年の医薬品・民間薬とその使用頻度等— 中川長

一 いわちどり (一一)六五～七〇 一九八三

『言継郷記』にみる当時の医療の一面 鈴木東洋 いわちど

り (一一)七〇～七八 一九八三

小笠種痘誌(統編) 舟木茂夫 いわちどり (一一)七八～

一五八 一九八三

医史跡散歩

足守と緒方洪庵 石田純郎 倉敷医師会だより (三)五二

～五五 一九八三

岡山藩医学館から岡山大学医学部へ 石田純郎 倉敷医師会

だより (四) 三三〇三七、(六) 四〇〇四四、(七) 三八〇
四二 一九八三

津山洋学資料館 石田純郎 倉敷医師会だより (八) 二八
〇三一 一九八三

蘭医ロイトルの足跡を訪ねて① 石田純郎 倉敷医師会だ
り (九) 二八〇三二、(一〇) 三〇〇三三 一九八三
石井十次の足跡を追って 石田純郎 倉敷医師会だより
(一一) 三七〇四一 一九八三

医界界風土記

秋田県 整骨金創之口訳 石田秀一 日医ニュース (五一
二) 一九八三

和歌山県 日本医師会、日本医学会の始祖―松山棟庵 中村
淳一 日医ニュース (五一三) 一九八三

鳥取県 梅毒専門医、船越敬祐の売薬と著述 森納 日医
ニュース (五一四) (五一五) 一九八三

宮崎県 佐土原医学学校 田代逸郎 日医ニュース (五一六)
(五一七) 一九八三

三重県 辺地医療に殉じた明治詩人 伊良子清白 長尾宏樹
日医ニュース (五一八) 一九八三

京都府 丹波康頼の遺跡 杉立義一 日医ニュース (五一
九) (五二〇) 一九八三

鹿児島県 結核サナトリウム海浜院 森重孝 日医ニュー
ス (五二二) 一九八三

新潟県 新潟施蘭薬院跡 蒲原宏 日医ニュース (五二
三) 一九八三

三) 一九八三

静岡県 玄聖講―近代医師会の起源 舟木茂夫 日医ニュー
ス (五二四) 一九八三

大阪府 最初の細菌学講義 藤野恒三郎 日医ニュー
ス (五二五) 一九八三

佐賀県 寂しく風雨にさらされる佐賀蘭学先駆者の墓 鍵山
栄 日医ニュース (五二六) 一九八三

新潟県 「オギノ通り」 蒲原宏 日医ニュース (五二
七) 一九八三

福井県 日本最初の解剖と小浜藩 田辺賀啓 日医ニュー
ス (五二八) 一九八三

北海道 「北海道医事講談会月報」覚書 小竹英夫 日医
ニュース (五三〇) (五三一) (五三二) 一九八三

島根県 島根県が生んだ秦佐八郎 米田正治 日医ニュー
ス (五三三) 一九八三

群馬県 上野百医家伝のうち 本島自柳 中野正 日医
ニュース (五三四) 一九八三

山口県 徳山のオーブン病院 長田昇 日医ニュー
ス (五三五) 一九八三

歴史的にみた神奈川の医療 大滝紀雄 日本医史学雑誌 二
九 (二) 一〇二―一〇四 一九八三

治療史

結核化学療法的基础研究一〇〇年の展望 後臨床基礎研究 金
井興美・近藤登子 結核 五八 (四) 二三五―二四五 一九八

三

伝記(個)

悲劇の人 高野長英 矢部一郎 医歯薬進学 (一月号) 六二

六五 一九八三

松本良順の海水浴説 伴 忠康 いずみ 三〇(六) 一〇一

九八三

エドワード・ジェンナーの種痘実験をめぐる謎 加藤四郎 い

わちどり (一一) 一五〇~一五七 一九八三

上田市医師会附属医学史料館報 山極博士の俳句 柳沢文秋

上田市医師会報 一一(一) 一、(二) 二四、(三) 一八、(四)

一六、(五) 一八 一九八三

古代ギリシャの医学遺跡 アスケレピオスとアスケレピオン

前川久太郎 大塚薬報 (三六二) 三~一三 一九八三

蘭医桂川 山田盟子 大塚薬報 (三八二) 六七~七〇 一九

八三

河口信任 川島恂二 解剖学者 河口信任 一~二 一九八三

ヨーロッパのエドワード・ジェンナー像 加藤四郎 科学医学

資料研究 (一〇五) 七~一一、(一〇六) 七~一二 一九八三

「バラケルスス全集」、「国際バラケルスス学会」のことなど

大橋博司 科学医学資料研究 (一〇六) 一~五 一九八三

華岡青洲と花井仙(千)蔵 宗田 一 科学医学資料研究

(一一〇) 一~四 一九八三

何人かのお雇い外国人医師との出会い—お雇い外国人産業医—

三浦豊彦 科学医学資料研究 (一一一) 九~一二 一九八三

バビンスキーとヒステリー 岩田 誠 科学医学資料研究

(一一二) 一~六 一九八三

漢方医学の歴史的変遷

曲直瀬玄朔—道三の後継者 安井広迪 THE KAMPO I

(三) 二六~三〇 一九八三

岡本玄治—曲直瀬門下の俊秀たち 安井広迪 THE KAM-

PO I (四) 二四~二九 一九八三

吉田家の人々—その医術と交遊 安井広迪 THE KAMPO

I (五) 二〇~二二 一九八三

長沢道寿—曲直瀬門下の俊秀たち 安井広迪 THE KAM-

PO I (六) 二二~二六 一九八三

初代曲直瀬道三の弟子たち 安井広迪 THE KAMPO II

(二) 二六~二九 一九八三

軍医緒方惟準 中宮安夫 北畠紀要 (二) 二五~二八 一九

八三

評伝 萩原タケ 亀山美知子 京都看短大紀 (八) 一五~二

八 一九八三

ヒポクラテス像のついでに記念メダルあれこれ 緒方富雄

けんざ 一三(一) 一三~二五 一九八三

梅毒の血清診断法の創案者 アウグスト・フォン・ワッセルマン

酒井シヅ 検と技 一(二) 一七六 一九八三

神経組織学の開拓者 サンチャゴ・ラモンイ・カハール 酒井

シヅ 検と技 一(一) 八八二 一九八三

最上徳内からシーボルトに贈られた樹木標本名詞について—『も

しほ草』と『蝦夷ケ島言語』との関連を中心に― 谷澤尚一

シーボルト研究 法政大学フオン・シーボルト研究会々誌

(一)一〇四二 一九八三

伊藤圭介からシーボルトに贈られた腊葉標本について(一)―特に

四一―一番く六二七番の腊葉群について(一)― 大森 實 シー

ボルト研究 法政大学フオン・シーボルト研究会々誌 (一)四

三〇一―一 一九八三

シーボルト『江戸参府紀行』(斎藤信 訳) 人名索引 沖田真

弓美・大森 實 シーボルト研究 法政大学フオン・シーボル

ト研究会々誌 (一)一〇二―一〇二八 一九八三

Roberi Koch と日本医学 日本における結核研究 藤田真之

助 通信医 三五(二)九七―一〇三 一九八三

緒方洪庵と適塾 芝 哲夫 通信医 三五(九)四九九―五〇

七 一九八三

蘭医ボンベの生涯 宮永 孝 日蘭学会々誌 七(二)一―二

九 一九八三

プラッハ先生伝 石田純郎・ハルム・ポイケルス 日蘭学会々

誌 八(一)二二―三二 一九八三

シーボルトの日本人妻「たき」の毛髪血液型 高浜桂一他一名

日法医誌 三七(三)二六五 一九八三

御雇教師エルンスト・チーゲル(二) 小関恒雄 日本医学雑

誌 二九(一)四二―四九 一九八三

ベルツに関する資料若干 小関恒雄 日本医学雑誌 二九

(一)六四―六九 一九八三

外科の守護聖人サン・コームについて 大村敏郎 日本医学

雑誌 二九(二)一〇―一〇二 一九八三

大槻玄沢と西賓会話 山形敏一 日本医学雑誌 二九(二)

一一九―一二〇 一九八三

文学に現われたバラケルスス像 大橋博司 日本医学雑誌

二九(二)一一二―一二三 一九八三

ヘルマン・ブールハーフェの座右の銘「単純は真理のしるしな

り」の語源について 守屋 正 日本医学雑誌 二九(二)

一二三 一九八三

モンテペルデ作 エドワード・ジェンナーの青銅像 加藤四

郎 日本医学雑誌 二九(一)一三二―一三三 一九八三

A・F・ポードイン帰国時の賞典授与の経緯について 松田

武 日本医学雑誌 二九(二)一三六 一九八三

石川玄常について 津田進三 日本医学雑誌 二九(二)一

四三―一四五 一九八三

中津藩と村上玄水 川島真人・村上玄児・今永正樹 日本医学

学雑誌 二九(二)一四六―一四八 一九八三

アルメイダ没後四百年の足跡を訪ねて 東野利夫 日本医学

雑誌 二九(二)一四八―一四九 一九八三

藤野巖九郎の蘭学の系譜 泉 彪之助 日本医学雑誌 二九

(二)一四九―一五一 一九八三

目黒道琢の事蹟について 中島康伸 日本医学雑誌 二九

(二)一五二―一五四 一九八三

村医と著述―河内国坂村三浦蘭^ゴ阪の場合― 末中哲夫 日本医

史学雑誌 二九(二) 一五四～一五五 一九八三

医師木戸麟の近代社会への貢献 丸山知良 日本医史学雑誌

二九(二) 一五五～一五七 一九八三

『東谷御林人參一卷』と松平君山 安江政一 日本医史学雑誌

二九(二) 一七四～一七五 一九八三

我が川島家の医史 川島恂二 日本医史学雑誌 二九(二) 一

七六～一七八 一九八三

E・ベルツの憑依論について 安井 広 日本医史学雑誌 二

九(二) 二〇五～二〇六 一九八三

佐藤尚中先生歿後一〇〇年祭挨拶 有山 登 日本医史学雑誌

二九(三) 二三九～二四〇 一九八三

佐倉時代の尚中 篠丸頼彦 日本医史学雑誌 二九(三) 二四

一～二五四 一九八三

長崎時代の尚中先生 中西 啓 日本医史学雑誌 二九(三)

二五五～二五八 一九八三

佐藤尚中と大学東校 小川鼎三 日本医史学雑誌 二九(三)

二五九～二六二 一九八三

尚中の私生活 大滝紀雄 日本医史学雑誌 二九(三) 二六三

～二六九 一九八三

シーボルト処方録 戸塚武比古 日本医史学雑誌 二九(三)

三一六～三三九 一九八三

大槻玄沢と「西賓対晤」 山形徹一 日本医史学雑誌 二九(四)

四二二～四二七 一九八三

池田謙齋―初代東京大学医学部総理―(一) 堀江健也 日本

医史学雑誌 二九(四) 四二八～四三四 一九八三

藤野巖九郎の蘭学の系譜と生地 泉 彪之助 日本医史学雑誌

二九(四) 四三五～四四七 一九八三

欽明朝に來日した百済の医師王有悛陀について 松木明知 日

本医史学雑誌 二九(四) 四四七～四五四 一九八三

石川玄常のこと 津田進三 日本医事新報 (三〇六四) 六五

一九八三

メイヨ―・クリニクと高木兼寛 菅 正明 日本医事新報

(三〇六八) 六四～六五 一九八三

ロイトル先生伝 石田純郎 日本医事新報 (三〇七七) 六七

～六九 一九八三

明治初期御雇医学教師 ショルツェの富士登山 小関恒雄・北

村智明 日本医事新報 (三〇八一) 六二～六五 一九八三

徳川家康と人質時代 王丸 勇 日本医事新報 (三〇八八)

六一～六三 一九八三

中津藩蘭学医・村上玄水について 川島真人 日本医事新報

(三〇九八) 六六～六七 一九八三

御雇教師ミユルレルとホフマンの生・没年 小関恒雄他 日本

医事新報 (三一〇一) 六二～六四 一九八三

専門医による最初の漱石精神病論を読んで 松本健次郎 日本

医事新報 (三一〇八) 五九～六一 一九八三

徳川家康と医学 王丸 勇 日本医事新報 (三一三三) 五九

～六一 一九八三

医学の散歩道

池田謙齋―初代東京大学医学部部长 堀江健也 練馬区医師会

だより (一七八) 一六〇一八、(一七九) 三九〇四二、(一

八〇) 一七〇二〇、(一八一) 一五〇一八 一九八三

嵯峨野の冬―清涼寺と二尊院を訪ねて― 堀江健也 練馬区

医師会だより (一八三) 三三〇三五 一九八三

我が闘病記 堀江健也 練馬区医師会だより (一八四) 三

八〇四一 一九八三

近世外科手術進歩への道 堀江健也 練馬区医師会だより

(一八五) 二二〇二四、(一八六) 三三〇三五、(一八七) 二

六〇二九、(一八八) 一五〇一七、(一八九) 二八〇三〇 一

九八三

名医列伝

近代医育制度の推進者―佐藤尚中 西洋医学を实践した名外科

医 蔵方宏昌 ばんぶう (二月号) 一〇六〇一〇七一

九八三

心電計を發明した生理学者―アイントフエン 蔵方宏昌

ばんぶう (二月号) 一一八〇一一九 一九八三

ペニシリンを発見した細菌学者フレミング 蔵方宏昌 ばん

ぶう (二二) 一二六〇一二七 一九八三

胸部外科の創始者―ザウエルブルッフ 蔵方宏昌 ばんぶう

(二二) 一〇八〇一〇九 一九八三

実験生理学の確立者―クロード・ベルナル 蔵方宏昌 ば

んぶう (二三) 一一八〇一一九 一九八三

血液循環の発見者―ウィリアム・ハーヴェイ 蔵方宏昌 ばん

ぶう (二四) 一二八〇一二九 一九八三

脳外科の父―ハーヴェイ・ラッシング 蔵方宏昌 ばんぶう

(二五) 一二四〇一二五 一九八三

生化学の開拓者―オットー・ワールブルグ 蔵方宏昌 ばん

ぶう (二六) 一二六〇一二七 一九八三

化学療法の開拓者―パウエル・エールリッヒ 蔵方宏昌 ばん

ぶう (二七) 一二八〇一二九 一九八三

近代解剖学の父―アンドレアス・ヴェサリウス 蔵方宏昌

ばんぶう (二八) 一四〇〇一四一 一九八三

高瀬武平先生のご逝去を悼む 加藤豊明 北陸医史 五(一)

五〇六 一九八三

北陸の巨星墜つ(高瀬武平) 酒井 恒 北陸医史 五(一)

六〇八 一九八三

弔辞(高瀬武平) 梶川欽一郎 北陸医史 五(一) 九一九

八三

高瀬武平福井医科大学長のご逝去を悼む 大月恭一 北陸医史

五(一) 一一〇一二 一九八三

高瀬武平先生を偲んで 野村 進 北陸医史 五(一) 一四〇

一七 一九八三

高瀬武平先生を偲んで 第一外科時代の頃など 山本信二郎

北陸医史 五(一) 一七〇二二 一九八三

福井医科大学における医史学講義を拜命して(高瀬武平) 岩

治勇一 北陸医史 五(一) 二二〇二四 一九八三

高瀬学長の遺訓を憶う 白崎昭一郎 北陸医史 五(一) 二四

～二七 一九八三

高瀬武平先生の思い出 松田健史 北陸医史 五(一)二八

二九 一九八三

断片医学史散歩 甘藷先生青木昆陽の墓に詣でて 春田三佐夫

Mod Media 一九(六)三三〇～三三三 一九八三

整形外科を育てた人達

Ambrose Pare 天児民和 臨整外 一八(一)六四～六七

一九八三

George Friedrich Louis Stromeyer (一八〇四～一八七六)

天児民和 臨整外 一八(三)二九四～二九七 一九八三

William John Little (一八一〇～一八九四) 天児民和 臨

整外 一八(五)五五二～五五五 一九八三

神経学の発達 アスクレピオス信仰 森 優 臨と研究 六〇

(一)赤ページ 一九八三

ラマッチーニ生誕三五〇年 三浦豊彦 労働の科学 三八(一)

二)四六～四七 一九八三

伝記(双)

Bilroth v. Brahms の交遊から 武智秀夫 医学のあゆみ 一

二四(一)四五～四九 一九八三

青木周弼と緒方洪庵 長州と大坂の交流 伴 忠康 いずみ

三〇(三)一〇 一九八三

森岡敬三「四海結盟簿」と森鼻宗次書簡―初期大阪医学校のひと

びと― 松田 武 大阪大学史紀要 (三)一二九～一三五

一九八三

何人かのお雇い外国人医師との出会い(一)―札幌農学校の

C・カッター― 三浦豊彦 科学医学資料研究 (一一〇)五

～八 一九八三

堺半井家の人々 その医術をさぐる 安井広通 漢方研 (一

三九)二二五～二二三 一九八三

狐憑症研究小史―E・ベルツ・島村俊一・呉 秀之― 岡田靖雄

日本医史学雑誌 二九(二)二〇七～二〇九 一九八三

御雇教師ミュレルとホフマン(一) 小関恒雄 日本医史学

雑誌 二九(三)二七六～二九〇 一九八三

明治期御雇医師夫妻の生活(一・二) トスカ・ヘゼキール編

北村智明・小関恒雄訳 日本医事新報 (三一一三)六二～六

五、(三一一四)五三～五六 一九八三

伝染病及び予防史

尿検査のあゆみ 丹羽正治 日本医師会雑誌 九〇(八) 一

九八三

安政年度のコレラ流行の北限について 松木明知 日本医史学

雑誌 二九(一)二五～三四 一九八三

東洋医学史

二〇世紀の医学と人間 飯島宗一 アーユルヴェーダ研究(一

三)一～九 一九八三

印度哲学における生命観 宮坂有勝 アーユルヴェーダ研究

(一三)一〇～一八 一九八三

日本のアーユルヴェーダ研究会の役割を思う 丸山 博 アー

ユルヴェーダ研究 (一三)一九～二〇 一九八三

東洋の修行法にみられる心身観 湯浅泰雄 アーユルヴェーダ

研究 (一三) 二一～三三 一九八三

文化史からみた医学—照葉樹林文化との関連 中尾佐助 アー

ユルヴェーダ研究 (一三) 三四～四〇 一九八三

西ドイツにおけるアーユルヴェーダ研究の実情と医学的人間学

小俣和一郎 アーユルヴェーダ研究 (二三) 四一～四五 一

九八三

釈尊の齒について 杉本茂春 アーユルヴェーダ研究 (二三)

五〇～五六 一九八三

中国伝統医学の底面と側面 吉元昭治 漢方の臨床 三〇(二)

三～九 一九八三

「中華全国中医学会 張仲景學說學術討論會」参加手記 小曾

戸 洋 漢方の臨床 三〇(二) 一〇～一七 一九八三

未病医学の歴史的考証 有地 滋・粟島行春 漢方の臨床 三

〇(二) 二〇～二一 一九八三

中華全国中医学会 張仲景學說學術討論會に参加して 小曾戸

洋 現代東洋医学 四(一) 一〇七～一〇九 一九八三

中国の歴史における医 山本徳子 日本医史学雑誌 二九(二)

九九～一〇一 一九八三

中国古代医学に於ける五行説について 家本誠一 日本医史学

雑誌 二九(二) 一九二～一九四 一九八三

中国古代原始本草体系の推察 森村謙一 日本医史学雑誌 二

九(二) 一九五～一九六 一九八三

中国医学と道教(Ⅲ薬鏡について) 吉元昭治 日本医史学雑誌

二九(二) 一九六～一九八 一九八三

日本に於ける朱丹溪学説の受容について 安井広迪 日本医史

学雑誌 二九(二) 二〇〇～二〇二 一九八三

中国伝統医学修得学生の漢語素養について(その二) 小杉順一

日本医史学雑誌 二九(二) 二〇二～二〇四 一九八三

医師コンピで翻訳した中国古代科学史 滝川 巖 日本医事新

報 (三〇六五) 六二 一九八三

中国上代における養生説の思想的考察(その二) 岸本良彦

明治薬科大学研究紀要(二三) 一～一八 一九八三

内科史

臨床医学の展望 序、医学の進み方 免疫学をモデルとして

山村雄一 日医新報 (三〇六七) 三～四 一九八三

博物学史

江戸後期の博物学 矢部一郎 科学医学資料研究 (一〇四)

一～六 一九八三

病理学・細菌学

「細胞説」に関する Schwann の三篇の子報について 檜木田

辰彦 科学史研究 二二(一四五) 三五～四三 一九八三

臨床病理学三〇年 小酒井 望 順天堂医学 二九(二) 一六

一～一六五 一九八三

風俗史

風俗随想

まぼろしの系脈 稲垣史生 大塚薬報 (三六二) 七三～七

薬の効きすぎ 稲垣史生 大塚葉報 (三六七) 七三〇七六

一九八三

医療の民俗誌 麻疹の民俗 宗田 一 健と自然 一二(四)

三二〇三五 一九八三

都市日本の民間医療 池田光穂 人類誌 九一(二) 二八八

一九八三

川柳医療風俗史・補遺 山本成之助 日本医事新報 (三〇七

三) 六七〇七〇、(三〇九八) 六八〇六九、(三一〇六) 六八〇

七〇 一九八三

放射線医学史

Digital Subtraction Angiography の歴史と現状 秋貞雅祥

医学界新聞 (一五三九) 二、(一五四〇) 二〇一三 一九八三

X線の発見と最初の新聞報道 青柳泰司 サクラXレイ写真

三四(四) 四五〇四九 一九八三

カテーテルを用いる大動脈レ線像撮影の歴史 市川篤二 治療

学 一一(二) 二八八〇二九一 一九八三

本邦における医学放射線技術教育の史的推移 今市正義 日本

医史学雑誌 二九(二) 一八七 一九八三

麻酔

華佗と麻酔 松木明知 日本医史学雑誌 二九(二) 一九八〇

一九九 一九八三

「麻酔」の語史学的研究 松木明知 日本医史学雑誌 二九

(二) 二一九〇二二〇、(三) 三〇四〇三二五 一九八三

日本の脊髄麻酔の歴史―とくにヤコビー線に関連して― 松木

明知 日本医史学雑誌 二九(二) 二二一 一九八三

世界最初のクロロフォルム麻酔死について 松木明知 日本医

史学雑誌 二九(四) 三九二〇四〇三 一九八三

麻酔科学史研究最近の知見(二)―「麻酔」の語史学的研究

松木明知 麻酔 三二(八) 一〇二二〇一七 一九八三

病院史

イギリスにおける病院の近代化 小沢吉見 日本医史学雑誌

二九(二) 一二四 一九八三

横浜山手病院 桑原千代子 日本医史学雑誌 二九(二) 二二

二〇二二四 一九八三

薬学史

鹿児島県の売薬 森 重孝 鹿児島市医報 二二(二) 三九〇

四三 一九八三

郷土医史 鹿児島県の売薬補遺 森 重孝 鹿児島市医報 二

二(一〇) 三八〇四〇 一九八三

フレミング 最初の抗生物質ペニシリンへの道は険しかった

宗田 一 光華の一九二〇年代 (二〇) 三八五〇三九二 一

一九八三

睡眠薬の歴史 君島健次郎 治療学 一一(一) 一五七〇一六

〇 一九八三

日葡辞書から見た安土桃山時代の医学―二、くすり 亀 節

子・大槻 彰・前川久太郎 日本医史学雑誌 二九(一) 五〇

〇六三 一九八三

その他

歴史のなかの現代医学 川喜田愛郎 からだの科学 (一〇九)

二〇七 一九八三

鼠の自然発生実験の考察—実験中の事故による結果は史論の対象にはならない 安江政一 日本医史学雑誌 二九(一)一九八三

二四 一九八三

医学のシンボル「蛇杖」の歴史 古川 明 日本医史学雑誌

二九(二)一〇五—一〇七 一九八三

わが国最初の医学雑誌 谷津三雄・鈴木 勝 日本医史学雑誌

二九(二)一一八—一一九 一九八三

明七雑誌について 石田純郎 日本医史学雑誌 二九(四)四〇四—四一一 一九八三

研究と生活 西丸和義 広島医

三六(七)七九六—八〇七 一九八三

欧文文献

[On the border of ancient and new medicine] VASCO-

LENKO Vkh. Ter Arkh 五五(一)一三三—一三九 一九八三

八三

The concept of climate and national superiority in the Talmud and its classical parallels NEWMYER, S., Trans Stud Coll Physicians Phila 五(一)一—一一 一九八三

The school at Alexandria and the vascular system. The circulation near miss BONNABEAU RC Jr., Minn Med

六六(二)一〇〇—一〇一 一九八三

"Fit to Study Medicine": Notes for a History of Pre-Medical

Education in America BRIEGER, Ger H., Bulletin of the History of Medicine 五七(一)一—二二 一九八三

Medical Text and Social Context: Explaining William Buchan's

Domestic Medicine ROSENBERG, Charles E., Bulletin of the History of Medicine 五七(一)二二—四二 一九八三

Care of the Sick Brothers by the Crusader Orders in the Holy

Land STERNS, Indrikis, Bulletin of the History of Medicine 五七(一)四三—六九 一九八三

Puerperal Fever and the Group B Beta Hemolytic Streptococcus LANSING, Dorothy I. PENMAN, W. Robert

and DAVIS, Dorland J., Bulletin of the History of Medicine 五七(一)七〇—八〇 一九八三

Comparative Medicine: American Experience with Equine

Tetanus—from Benjamin Rush to Toxoid MILLER, Everett B., Bulletin of the History of Medicine 五七(一)八二—九二 一九八三

The Preservation of Historical Materials in Genetics GLASS,

Bentley, Bulletin of the History of Medicine 五七(一)九八—一〇五 一九八三

"Making Fewer Mistakes": A History of Students and Patients

ATWATER, Edward C., Bulletin of the History of Medicine 五七(二)一六五—一八七 一九八三

S. Weir Mitchell, Philadelphia's "Lost" Physiologist FYE,
 W. Bruce, Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔ (11)
 一八八～二〇一 一九八三

Demystification and Surgical Power in the French Enlightenment
 GELFAND, Toby, Bulletin of the History of
 Medicine ㉔㉔ (11) 110311～1111㉔ 一㉔㉔三

The Plight of Clinical Teaching in America LUDMERER,
 Kenneth M., Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 1111八～111㉔ 一九八三

Anatomical Physiology and the Reform of Medical Education:
 London, 1825～1835 MAZUMDAR, Pauline M. H.,
 Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔ (11) 11111〇～11
 11六 一九八三

Historiography in History and Psychoanalysis WALLACE,
 Edwin R., IV, Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 1111㉔㉔～11㉔㉔ 一九八三

Competition for the first School of Hygiene and Public Health
 FEE, Elizabeth, Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 1111九～11㉔㉔ 一九八三

A Southern Medical Reform: The Meaning of the Antebellum
 Argument for Southern Medical Education WARNER,
 John Harley, Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 11㉔㉔～11㉔㉔ 一九八三

Making Separate, Equal: Black Physicians and the Problems

of Medical Segregation in the Pre-World War II South
 BEARDSLEY, E.H., Bulletin of the History of Medicine
 ㉔㉔ (11) 11㉔㉔～11㉔㉔ 一九八三

"Be It Ever So Little": Reforming the Insanity Defense in the
 Progressive Era TIGHE, Janet A., Bulletin of the
 History of Medicine ㉔㉔ (11) 11㉔㉔～11㉔㉔ 一九八三

The Historical Roots and Ideological Functions of Disease
 Concepts in Three Primary Care Specialties KUNITZ,
 Stephen J., Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔ (11)
 111111～111111 一九八三

American Association for the History of Medicine: Report of
 the Fifty-Sixth Annual Meeting HUDSON, Robert P.,
 Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔ (11) 111111～11
 11〇 一九八三

Mary Breckinridge, the Frontier Nursing Service and the In-
 troduction of Nurse-Midwifery in the United States DYE,
 Nancy Schrom, Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 1111五～1111五 一九八三

Plague Legislation in the Italian Renaissance CARMIL-
 CHAEL, Ann G., Bulletin of the History of Medicine ㉔㉔
 (11) 11〇〇～111111 一九八三

The Gout of Desiderius Erasmus and Willibald Pickheimer:
 Medical Autobiography and its Literary Reflections BENE-
 DEK, Thomas G., Bulletin of the History of Medicine

五十七 (四) 五二六～五四四 一九八三

Chance and Social Setting in the Application of the Discovery of Blood Groups SCHNEIDER, William H., Bulletin of the History of Medicine 五十七 (四) 五四八～五六二 一九八三

Neurology and Spiritualism in the 1870s BROWN, Edward M., Bulletin of the History of Medicine 五十七 (四) 五六三～五七七 一九八三

Fit for Work: The Introduction of Physical Examinations in Industry NUGENT, Angela, Bulletin of the History of Medicine 五十七 (四) 五七八～五九五 一九八三

The Decline of Historicism: The Case of Compulsory Health Insurance in the United States FOX, Daniel M., Bulletin of the History of Medicine 五十七 (四) 五九六～六一〇 一九八三

The Seeds of Disease: an explanation of contagion and infection from the Greeks to the Renaissance NUTTON, Vivian, Medical History 卅卅 (一) 一～三四 一九八三

The Rage of Parry: a glorious revolution in English psychiatry? PORTER, Roy, Medical History 卅卅 (一) 三卅～卅〇 一九八三

Physicians, Science, and Status: issues in the professionalization of Anglo-American medicine in the nineteenth century SHORTT, S.E.D., Medical History 卅卅 (一) 五二～六八

一九八三

History of opium in Sri Lanka URAGODA, C.G., Medical History 卅卅 (一) 六九～七六 一九八三

A New View of the Vesalian Landscape CAVANAGH, G. S.T., Medical History 卅卅 (一) 七七～七九 一九八三

Smallpox in London: factors in the decline of the disease in the nineteenth century HARDY, Anne, Medical History 卅卅 (一) 一〇一～一〇八 一九八三

The Training and careers of Those Apprenticed to Apothecaries in Suffolk 1815～1858 ZWANENBERG, David van, Medical History 卅卅 (一) 一三九～一五〇 一九八三

The Peckham Health Centre, "PEP", and the Concept of general practice during the 1930s and 1940s LEWIS, Jane, and BROOKES, Barbara, Medical History 卅卅 (一) 一五一～一六一 一九八三

Local Politics and Public Health in Mid-nineteenth-century Plymouth BRAYSHAY, Mark, and POINTON, Vivian F.T., Medical History 卅卅 (一) 一六二～一六八 一九八三

Infantile Hysteria and Infantile Sexuality in Late Nineteenth-century German-language Medical Literature CART-ER, K. Codell, Medical History 卅卅 (一) 一八六～一九六 一九八三

New Light on Some Harvey Portraits LIPSCOMB, J.M.,

- Medical History 二卅 (二) 一九七~二〇二 一九八三
- The Identification of Kala Azar and the Discovery of Leishmania Donovanii GIBSON, Mary E., Medical History 二卅 (一) 一〇三~一二三 一九八三
- The Domestication of Madness SCULL, Andrew., Medical History 二卅 (三) 二二三~二四八 一九八三
- A Doctor's Cash Book: the economy of general practice in the 1830s LOUDON, I.S.L., Medical History 二卅(三) 二四九~二六八 一九八三
- Experimental Pathology and the Origins of Tissue Culture: Leo Loeb's contribution WITKOWSKI Jan A., Medical History 二卅 (三) 二六九~二八八 一九八三
- Ivan the Terrible to Peter the Great. British formative Influence on Russia's medico-apothecary system APPELBY, John H., Medical History 二卅 (三) 二八九~三〇四 一九八三
- Illustrations from the Wellcome Institute Library: Some early medical contacts with the Kalmuck tribes Siberia AL-LAN, Nigel, Medical History 二卅 (三) 三〇五~三〇九 一九八三
- The Scientific Activities of Alexander Fleming, other than the Discovery of Penicillin HARE, Ronald, Medical History 二卅 (四) 三四七~三五一 一九八三
- Dr. Thomas Hodgkin, Dr. Martin Delany, and the "Return to Africa" KASS, Amalie M., Medical History 二卅 (四) 三五一~三六三 一九八三
- Man and Body in the History of the Modern Age IMHOF, Arthur E., Medical History 二卅 (四) 三九四~四〇六 一九八三
- Medical Police. Politics and Police: the fate of John Robertson WHITE, Brenda M., Medical History 二卅 (四) 四〇七~四二二 一九八三
- Sir Busick Harwood: a reappraisal WILLIAMSON, Raymond., Medical History 二卅 (四) 四二三~四三三 一九八三
- Die oberitalienische Hospitalreform des 15. Jahrhunderts und ihre Bauten QUADFLIEG, Rolf, Sudhoffs Archiv 六卅 六卅 (一) 二五~三八 一九八三
- Die Heilkunde in spätmittelalterlichen Handschriften-encyklopädiën ZIMMERMANN, Volker, Sudhoffs Archiv 六卅 (一) 三九~四九 一九八三
- Use of Veins in Surgery: A History MALUF, Noble S. R., Sudhoffs Archiv 六卅 (一) 五〇~七三 一九八三
- Consolida maior, Consolida minor und eine Kräutertfrau GERABEK, Werner, Sudhoffs Archiv 六卅 (一) 八〇~九三 一九八三
- Nutzen zu Privatbibliotheken Deutscher Ärzte des 15.~17. Jahrhunderts LORENZ, Bernd, Sudhoffs Archiv 六卅

- (二) 一九〇〇～一九八 一九八三
- Die Pestrezepte der Basler Handschrift D II 30 HILLIS,
Hans-Peter, Sudhoffs Archiv 六廿(一) 111〇～1117
一九八三
- XI. Medicine seeks to be scientific KING, L.S., JAMA
二四九(一八) 二四七五～二四七九 一九八三
- The American medical literature, Samuel D. Gross, report on
the causes which impede the progress of American Medical
literature. 1856 Trans Stud Coll Physicians Phila 卅(三)
一七六 一九八三
- Medico-geographical descriptions—a major source of the study
of the history of medicine of Moldavia POPUSHOI EP,
et al., Sov Zdravoakhr (八) 五八～六一 一九八三
- Medical thinking. A historical preface. An essay review
WOLF S., Trans Stud Coll Physicians Phila 卅(一) 卅
六～八 一九八三
- Reprints in the History of Medicine: An essay review
SMITH DC, J Hist Med Allied Sci. 三八(一) 九四～
九八 一九八三
- The Hannah Institute: promoting Canadian history of medi-
cine PATERSON GR. Can Med Assoc J 一二七(一
一) 1315～1318 一九八三
- Medical history as an introduction to clinical reasoning
MAULITZ RC, et al., J Med Educ 五八(五) 四二二～
- 四二九 一九八三
- The Hippocratic method VASILENKO VKh Klin Med
(Mosk) 六1(1〇) 3～11 一九八三
- The uses of medical history RAVITCH MM. Pharos 四
六(四) 二～六 一九八三
- Semmelweis Museum: a reminder of Hungary's 'mothers'
saviour Kelly G, et al., Can Med Assoc J 一二七(一
一) 1481～1482 一九八三
- The early history of medicine in Nashville KAMPMEIER
RH., J Tenn Med Assoc 卅六(一) 八九～九六 一九八三